

事業番号	事業名	内容	対象外項目番号
	都市計画決定事業		
1	都市計画策定・企画調整事業	都市計画に関する調査、計画立案等に関すること	①
2	都市計画基本図等印刷事業	H28年度に修正を行った地形図データを基に基本図等の印刷を行う	①
3	都市計画基礎調査事業	都市計画法第6条に基づいて都市の現況や動向を把握するための調査を行う	①
4	都市計画審議会事業	都市計画審議会開催・運営に関すること	②
	まちづくり推進事業		
5	大磯町まちづくり条例事業	大磯町まちづくり条例の運用を行う	②
6	まちづくり基本計画事業	大磯町まちづくり基本計画の運用評価及び計画の見直し検討を行う	⑥
7	まちづくり審議会事業	まちづくり審議会の開催・運営に関すること	②
8	住居表示事業	住居表示関連業務全般	①
9	空き家、住環境施策事業	空き家、住環境に関する調査等の対応	⑤
10	自転車ネットワーク計画事業	自転車ネットワーク計画の策定を行う	⑥
11	駅前広場周辺整備事業	大磯駅前広場周辺エリアの再整備の検討	⑥
	開発建築事業		
12	都市計画法第32条同意協議事業	開発行為に対するまちづくり条例に基づく指導調整	①
13	都市計画法第43条申請経由事業	都市計画法に基づく申請の経由事務	⑦
14	建築確認申請経由事業	建築確認申請の経由事務	⑦
15	建築協定事業	建築協定に関する事務	⑦
16	開発事業紛争調停委員会事業	開発紛争調停委員会に関する事務	②
	景観づくり事業		
17	景観施策企画・調整・運用事業	景観施策の企画及び総合調整に関すること	⑦
18	景観重要建造物事業	景観重要建造物の指定に関すること	②
19	景観応援団事業	景観応援団の開催、事務	②
	耐震改修促進事業		
20	耐震改修補助事業	住宅の耐震診断及び耐震補強工事等の補助に関する事務、建築物震後対策推進に関する事務	-
	都市交通推進事業		
21	都市交通事業	廃止路線のバス運行補助を行う。また、西小磯の一部地区に乗合タクシーの運行委託を行う。	-
22	地域公共交通会議事業	大磯町地域公共交通会議の開催・運営に関すること	②
23	歴史的建造物等整備事業	本町の歴史、文化、生活を現在に伝える歴史的又は文化的価値の象徴となる建造物の保全及び活用を図る	⑦
	公園運営事業事務		
24	都市公園運営事業	公園運営における各種事務処理、会合出席、公園緑地里親制度事務	②

25	公園緑地維持管理事業	季節公園緑地の清掃・除草・清掃ゴミの収集運搬、樹木の剪定、遊具の点検等	-
26	運動公園維持管理事業	指定管理者制度に基づき大磯運動公園の管理を行う	-
27	児童遊園維持管理事業	山王町児童遊園(なかよし公園)を適正に維持管理するため、委託による清掃等を行うとともに、遊具の安全点検等施設の維持管理を行う	-
28	都市公園台帳整備事業	都市公園台帳が未整備な公園について、順次、都市公園台帳を作成する	③
29	公園トイレ改修事業	池田公園トイレの改修工事を実施	⑤
	花とみどり推進事業		
30	花とみどり推進事業	庁内の緑化に対する助成、公園におけるボランティア活動の助成	-
31	保存樹木事業	庁内の特定樹木の保護	⑤
32	かながわトラストみどり財団事業	負担金支出、会合出席等	①
33	緑の基本計画事業	策定されたみどりの基本計画の運用	⑦
34	みどり基金積立事業	町に残された自然環境や歴史的環境を保全するとともに、緑化の推進を図る事業の財源とするため、必要な経費日を積み立てる	①
35	国土利用計画法事業	国土法届出に関する業務	①
36	公有地の拡大の推進に関する法律事業	公拡法届出に関する業務	①
37	社会資本整備総合交付金事業	社会資本整備総合交付金に関する事務	⑦
38	松くい虫被害対策自主事業	松くい虫の防除として、樹幹注入及び松の伐倒、また、抵抗黒松の苗木配布	-
39	課内庶務事業	文書照会回答、課内各種集計等	②
40	災害復旧事業	公園施設等が災害により、被害を受けたとき復旧等を行う	①

予算事業名	耐震改修促進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	耐震改修補助事業	係名	開発指導係
		事業番号	20
		事業開始年度	平成18年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	I 安全で安心なあたたかみのあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	1 危機管理	認定番号	1-3
大施策	B 防災基盤の整備	事業名	建築物耐震改修等補助事業
中施策	(1) 災害に強い基盤整備の強化		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町耐震改修促進計画、大磯町住宅耐震化事業補助金交付要綱				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	住宅の耐震化を促進することにより、「大磯町第四次総合計画」に明記されている「安全で安心なあたたかみのあるまちづくり」の実現に向けて、地震による建築物の倒壊から人命を守る				
対象 (誰を・何を)	昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅				
内容	耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震化率を90%とすることを目標とし、昭和56年5月31日以前に建築確認済証を取得した住宅の耐震化事業に対する補助				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,474	2,489	6,130
	国庫支出金	千円	1,146	1,173	2,687
	県支出金	千円	491	596	1,410
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	837	720	2,033
	職員人数 (概算職員数)	人	0.32	0.47	0.53
	人件費計 (b)	千円	1,910	1,910	2,991
総事業費 (a)+(b)	千円	4,384	4,399	9,121	
事業費内訳 H 29 年度	講師等謝金：45千円 普通旅費：21千円 消耗品費：20千円 建築物震後対策協議会負担金：44千円 住宅耐震改修等補助金：6,000千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 耐震性のない住宅総数	戸	4,521	4,267	4,110
	②				
活動指標 (活動量)	① 耐震診断実施戸数	戸	7	9	20
	② 耐震改修実施戸数	戸	3	3	4
成果指標 (達成度等)	① 耐震化率	%	68.66	70.29	71.39
	② 耐震相談会	回	1	1	1

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	国や県（補助金関係）、町関係各課（危機管理課や税務課）と連携を取りながら実施している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	平成24年度の行政評価を受け、耐震化事業を重点的に進めるゾーニング設定（緊急輸送道路沿い）を行い、優先的に耐震化を図っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	住宅耐震診断後、補助制度があるものの個人負担が多額になる、あるいは後継者問題もあり改修後に住む者の予定が立たないなど、改修工事に至らないケースもある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	必要最小限の経費で事業を進めている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	国や県の補助金を活用している。
	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	耐震化率が耐震改修促進計画の想定を下回っているため改善の余地はあると言えるが、少しずつ着実に向上してきているため「A」とした。
担当課による評価			

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	耐震化の啓発について、「広報おおいそ」やホームページへの掲載、また一部地域でのポスティング、さらには木造住宅の耐震診断無料相談会を開催する等の耐震PR活動に努めると共に、空き家対策と同時に住環境施策の充実を図っていく必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	旧耐震基準の建物所有者に1人でも多く耐震診断を行うよう周知に努める。また緊急輸送道路沿道の建物所有者、さらには世帯員全員が非課税の場合の耐震診断にあつては、これまでの補助額よりも増額して対応することとする。
③ 平成30年度に着手する事項	大磯町空き家等対策に関する指針に沿って、空き家の有効活用を推進していくとともに大磯町耐震改修促進計画と整合性を図っていく。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

住宅耐震改修等補助金交付要綱に委任払いを追加し、これまでは、申請者が施工業者等に全額支払った後に補助金を交付していたが、委任払い申請をした場合、町から施工業者等へ直接支払うことで金銭負担の軽減を図ることができ、更なる申請者の増の取組みを図る。

予算事業名	都市交通推進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	都市交通事業	係名	都市計画係
		事業番号	21
		事業開始年度	平成15年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	V 個性と魅力と活力のあるまちづくり	総合計画実施計画	
部門	4 道路・交通	認定番号	—
大施策	B 生活交通への対策	事業名	—
中施策	(1) バス利用対策の推進 (2) 公共交通の利便性の改善		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	—				
個別計画等	大磯町地域公共交通総合連携計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	①路線バスの撤退が示された富士見地区（虫窪・黒岩・西久保地区）の公共交通の確保 ②公共交通の利用が不便な生活交通空白地域への新たな公共交通導入の検討				
対象 (誰を・何を)	①虫窪・黒岩・西久保地区住民及び同地区を目的とする者 ②西小磯の一部地区				
内容	①富士見地区の路線バスの撤退申出を受け、撤退した路線バスの運賃を補助することで二宮駅富士見地区間を中心とした路線バス運行事業者による運行を開始 ②地域住民有志団体「西小磯東地区地域交通推進の会」とともに検討を行い、当該地区に最も適した公共交通として乗合タクシーの運行を開始				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	18,885	20,573	21,342
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	18,885	20,573	21,342
	職員人数 (概算職員数)	人	0.30	0.26	0.49
	人件費計 (b)	千円	1,791	1,501	2,765
総事業費 (a)+(b)	千円	20,676	22,074	24,107	
事業費内訳 H 29 年度	会議報酬：65千円 旅費10千円 乗合タクシー運行委託：1,385千円 生活交通確保対策推進事業補助金：19,882千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 富士見地区人口 (4月1日)	人	786	728	713
	② 運行便数	本/日		21	21
活動指標 (活動量)	① 乗車人数	人/年	25,000	24,500	24,500
	② 運行便数	本/日		6	6
成果指標 (達成度等)	① 乗車人数	人/年	24,071	22,707	24,500
	② 運行便数	本/日		6	6

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	<p>補助路線バスについては、住民からの要望であった駅までのバスの乗り入れや、有償運行による継続的なバス運行のため路線バス運行事業者が実施するのは妥当である。</p> <p>また、乗合タクシーについては、既存のタクシー事業者に委託することで、町が車両を手配する必要が無く、かつ、町内の道路にも精通していることから妥当である。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	<p>補助路線バスについては、地域の児童、生徒を集団登下校させる必要もあることからバス車両による運行が妥当である。</p> <p>また、乗合タクシーについては、地区内の地形により大型車両の運行が困難である。また、限定した地区の運行であり、定時定路線での大量輸送が望めないことから普通資料による運行が妥当である。</p>
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	<p>限られた便数の中で、地域の児童、生徒の登下校、買物や通院など当初意図としていた利用はなされている。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	<p>補助路線バスについては、不採算路線であった路線であるため、一概にコストに対する効率性のみを求めることは適切ではないが、少しでも町の財政負担を減らす取組みを行う必要がある。</p> <p>乗合タクシーについては、利用の無い時間は運行しない、一定の利用者負担を求めるなど、コストの削減を行った。</p>
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	<p>補助路線バス、乗合タクシーいずれもコスト削減は便数を減らすことにつながるため、図る余地は少ないが、地元住民の意識調査や運行データの精査によりダイヤ等の見直しを図り、利用者数の増加により、町の費用軽減を行う必要がある。</p>
	<input type="checkbox"/> 図られた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね図られた <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	<p>補助路線バスについては、不採算路線であった路線であるため、一概にコストに対する効率性のみを求めることは適切ではないが、少しでも町の財政負担を減らす取組みを行う必要がある。</p> <p>乗合タクシーについては、利用の無い時間は運行しない、一定の利用者負担をを求めるなど、コストの削減を行った。</p>
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	<p>補助路線バスの運賃収入は増加傾向にあるため、概ね成果が出ていると言える。</p> <p>乗合タクシーについては運行が開始され、概ね想定された利用本数が運行されている。しかしながらいずれも町の支出を抑える運行方法の検討が必要である。</p>

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	<p>利用状況の調査を行い、運行方法の検討を引き続き行っていく。</p>
② 平成29年度に着手する事項	<p>地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ等の改正等を行う。</p>
③ 平成30年度に着手する事項	<p>地元住民の意識調査や運行データの精査を行う。それらの結果次第では、ダイヤ等の改正等を行う。</p>

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日 平成30年3月26日

富士見地区を中心に運行をしている補助路線バスについて、地元住民との協議等を行い、運行方法の再検討を行う。

予算事業名	公園運営事務事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	公園緑地維持管理事業	係名	都市計画係
		事業番号	25
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 公園	認定番号	—
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	—
中施策	(1) 公園づくりの推進 (2) 公園の管理運営		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
個別計画等	大磯町緑の基本計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として公園の利用増進を図るとともに、自然景観を維持するため、緑地の維持管理を実施				
対象 (誰を・何を)	町内の都市公園・緑地（街区公園：42箇所、都市緑地：8箇所）				
内容	既設公園・緑地の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検、修繕等の実施するとともに、公園利用者等からの要望や意見に対する対応等を行っている				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	21,610	20,111	22,079
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	21,610	20,111	22,079
	職員人数 (概算職員数)	人	0.27	0.28	0.22
	人件費計 (b)	千円	1,612	1,616	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	23,222	21,727	23,320	
事業費内訳	消耗品：91千円 燃料費：88千円 光熱水費：2,028千円 修繕料：1,140千円 手数料：258千円 自動車損害保険料：19千円 傷害保険料：12千円 管理委託料：18,000千円 保守委託料：389千円				
H 29 年度					

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 清掃対象公園緑地数	箇所	47	50	50
	② 要望等の件数	回	60	85	100
活動指標 (活動量)	① 清掃回数	件	1,000	1,032	1,036
	② 要望等の処理件数	回	55	83	100
成果指標 (達成度等)	① 1公園緑地当たりの年間清掃回数	件	22	21	21
	② 要望等の処理率	%	92	97	100

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図れている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図れている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター等）へ委託することで、コストの削減を図っている。 また、アダプト制度の活用により、ボランティアによる公園管理を行っている。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	決められた予算の範囲内で、既存公園等の維持管理業務を適正に行っている。 予算の削減に向けた業務改善等は必要

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	既存公園の施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	安心安全な公園運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や、樹木剪定・清掃等を確実に実施する。
③ 平成30年度に着手する事項	平成29年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

平成29年度の遊具点検結果を踏まえ、町民に安全で安心して利用ができるように必要な修繕を行うとともに、近年の健康意識の高まりにより、健康遊具の設置の要望があったことから、平成30年度は大磯町の西部地区の4つの公園に健康遊具を設置する。

予算事業名	運動公園維持管理事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	26
		事業開始年度	—

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 公園	認定番号	—
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	—
中施策	(3) 運動公園の管理運営		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	都市公園法、町都市公園条例				
個別計画等	大磯運動公園施設長寿命化計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	町民のレクリエーション、健康増進及び福祉の向上の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	大磯運動公園（野球場、多目的広場、テニスコート4面等）				
内容	町都市公園条例に基づき、指定管理者を指定し、運動公園の運営管理や自主事業の開催、公園施設の維持管理業務などを行っている				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	23,655	22,507	21,488
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	23,655	22,507	21,488
	職員人数（概算職員数）	人	0.23	0.20	0.15
	人件費計 (b)	千円	1,373	1,154	846
総事業費 (a)+(b)	千円	25,028	23,661	22,334	
事業費内訳 H 29 年度	修繕料：600千円 通信運搬費：116千円 自動車損害保険料：30千円 管理委託料：20,712千円 物品借上料：30千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 有料施設の登録団体数	団体	2,052	2,474	2,594
	②				
活動指標 (活動量)	① 有料施設の利用者数	人	77,000	100,000	100,000
	② 自主事業のメニュー数	—	9	13	16
成果指標 (達成度等)	① 自主事業の参加人数	人	6,459	7,856	9,170
	②				

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯町都市公園条例の指定管理者の指定の基準に基づき、指定管理者を指定し、管理運営を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	大磯町都市公園条例に基づき、指定管理者制度により維持管理を図っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、利用者の多様なニーズに応えた、質の高いサービスを提供している。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、効果的・効率的な管理運営を図っている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	民間の事業者のノウハウを活用して、コストの削減を図っている。 また、新たな指定管理者の選定にあたり、5年間の債務負担行為を行う事で、5年間で500千円の経費削減を行った。
	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	さらなる運動公園の多目的で効率的な管理・運営に取り組む必要がある。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	自主事業の拡大などにより、利用者の拡大に取り組む必要がある。
② 平成29年度に着手する事項	長期利用禁止としている芝そりゲレンデについて、活用方法を検討する。 多目的グラウンド北側の既設L型擁壁に試験的に延長5mのボルダリング施設を設置及び全面ボルダリング施設化の検討。
③ 平成30年度に着手する事項	大磯運動公園施設長寿命化計画に基づき、改修を必要とする施設から順次着手していく。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

自主事業の拡大や多目的広場の芝生の維持を引き続き取り組むとともに、平成26年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、管理棟の屋根の防水層の補修及び外装壁の補修を行う。また、子ども向けの遊具の設置要望があったことから子どもたちが遊べる遊具の設置を行う。

予算事業名	児童遊園維持管理事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	27
		事業開始年度	昭和60年

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	2 公園	認定番号	—
大施策	A 特色ある公園づくり	事業名	—
中施策	(1) 公園づくりの推進 (2) 公園の管理運営		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	町児童遊園条例、児童福祉法				
個別計画等					
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	児童のレクリエーション等の場として利用増進を図るため				
対象 (誰を・何を)	山王町児童遊園				
内容	児童遊園の清掃、除草、清掃ゴミの収集運搬、樹木剪定、遊具点検・修繕等の維持管理業務を実施するとともに、利用者等からの要望や意見に対する対応等。				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,459	1,298	1,408
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,459	1,298	1,408
	職員人数 (概算職員数)	人	0.08	0.23	0.21
	人件費計 (b)	千円	478	1,328	1,185
総事業費 (a)+(b)	千円	1,937	2,626	2,593	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費：4千円 光熱水費：66千円 修繕料：80千円 管理委託料：381千円 保守委託料：17千円 敷地借上料：860千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 要望等の件数	件	4	9	10
	②				
活動指標 (活動量)	① 要望等の処理件数	件	3	7	10
	②				
成果指標 (達成度等)	① 要望等の処理率	%	75	78	100
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃・ゴミの運搬や樹木の剪定等を町内団体等へ委託している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託している。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	清掃業務等を町内の団体等へ委託することで、地域の実情に応じて、適正な維持管理が図られている。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	要望の一次対応等は職員が行い、必要に応じて業者に委託することで、効率的な維持管理が図られている。
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター）へ委託することで、コストの削減を図っている。
	<input type="checkbox"/> 図った <input checked="" type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他	理由	公園の清掃・ゴミの運搬を、町内団体（シルバー人材センター）へ委託することで、コストの削減を図っている。
担当課による 評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 必要最低限の予算で、既存施設の維持管理業務を適正に行っている。	

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点 既存施設については老朽化が進んでいることから、安全・安心の観点から、遊具を含む公園施設の点検・修繕に重点的に取り組む必要がある。 また、園内でのボール遊びについて、多数苦情・要望が寄せられているため、遊び方の周知及びボールが園外に飛び出さないように措置を講じる必要がある。
② 平成29年度に着手する事項 安全・安心な施設運営を行うため、遊具を含む公園施設の点検・修繕や樹木剪定、清掃等を確実に実施する。 硬いボールを使って遊ばないように喚起看板の設置及び防球フェンス設置の検討。
③ 平成30年度に着手する事項 平成29年度の遊具点検結果を踏まえ、必要な修繕を行うとともに、トイレチェックシートなどを活用して清掃を行うことで、安全で快適な維持管理に努める。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

平成29年度の遊具点検結果を踏まえ、町民が安全で安心して利用ができるように必要な修繕を行う。

予算事業名	花とみどり推進事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	花とみどり推進事業	係名	都市計画係
		事業番号	30
		事業開始年度	平成21年度

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	1 自然環境	認定番号	—
大施策	B 緑化の推進	事業名	—
中施策	(1) 緑化の推進体制の整備 (2) 緑地の保全		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	大磯町いけがき設置奨励事業補助金交付要綱、大磯町シンボルツリー奨励事業補助金交付要綱 大磯町花いっぱい運動推進要綱 大磯町保存樹木等助成金交付要綱				
個別計画等	大磯町緑の基本計画				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	いけがき設置やシンボルツリー植栽による敷地内緑化による良好な景観形成の推進 町民等によるボランティア団体が主体となって、花や緑の植栽の維持管理等の活動に参加することにより、花に親しむ機会を拡大するとともに、心のやすらぎと美化意識の高揚を図るために行う大磯町花いっぱい運動の推進 保存樹木等保全に関する経費の助成				
対象 (誰を・何を)	いけがき設置、シンボルツリー植栽、保存樹木等の保全及び花いっぱい運動に要する経費				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内に植栽するシンボルツリーに対する費用の助成 敷地外構にいけがきを設置するために要する経費の助成 ボランティア団体による花いっぱい運動に要する経費の助成 保存樹木等の保全に関する経費の助成 				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
事業費		単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)
	直接事業費 (a)	千円	580	559	479
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	580	559	637
	職員人数 (概算職員数)	人	0.09	0.14	0.18
	人件費計 (b)	千円	537	808	1,016
総事業費 (a)+(b)	千円	1,117	1,367	1,495	
事業費内訳 H 29 年度	消耗品費：78千円 傷害保険料：21千円 いけがき設置奨励事業費補助金：90千円 シンボルツリー奨励事業補助金：100千円 花いっぱい運動事業交付金：190千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① いけがき・シンボルツリー申請件数	件	5	6	6
	② 花いっぱい運動団体数	件	5	5	5
活動指標 (活動量)	① いけがき・シンボルツリー本数	m/本	16/4	20/4	20/4
	② 緑化面積	m ²	88	100	100
成果指標 (達成度等)	①				
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	町民等からの申請により、都市計画課にて審査を行い、各種補助金等の交付を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	各要綱に適合しているものについて、規定の補助金の交付を行っている。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	いけがき設置及びシンボルツリーについては、1~3件/年で横ばい状況である。花いっぱい運動については、登録団体数は横ばい状況である。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	花いっぱい運動に要する経費については、ボランティア団体に対する花苗の支給のみで、効果的である。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	年間の申請件数が伸び悩んでいるため、ホームページや広報等で制度の周知を行い、町内緑化の推進をさらに図っていく。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	年間の申請件数が伸び悩んでいるため、ホームページや広報等で制度の周知を行い、町内緑化の推進をさらに図っていく。
担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	経費に対して、緑化推進の効果は得られている。今後も制度の一層の周知を図っていく必要がある。

5. 改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	緑化の推進及び緑の保全に関する条例に基づき、広報・ホームページ等により制度の周知をよりいっそう図っていく。
② 平成29年度に着手する事項	平成26年1月に制定した「大磯町緑化の推進及びみどりの保全に関する条例」に基づき、ホームページや広報などにより積極的に周知を図っていく。
③ 平成30年度に着手する事項	制度のPRをより一層行い、申請件数の増加を図っていく。

6. 平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

現在活動を行っている団体のサポートの継続を心掛ける。新規申請件数の増進を図るため、町広報等を活用し、積極的に制度の周知を図っていく。

予算事業名	松くい虫被害対策自主事業	シート作成日	平成29年8月14日
		担当課名	都市計画課
細分事業名	—	係名	都市計画係
		事業番号	40
		事業開始年度	昭和57年

1.総合計画上の位置づけ

柱	Ⅲ 人と自然が共生する循環のまちづくり	総合計画実施計画	
部門	1 自然環境	認定番号	—
大施策	A 自然環境の保全	事業名	—
中施策	(1) 自然環境の保全		

2.事業の概要

根拠法令・条例等	森林病虫害防除法				
個別計画等	—				
行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—	実施項目名	—	
目的 (何のために)	優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全				
対象 (誰を・何を)	松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松				
内容	松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を委託により実施				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成27年度 (決算)	平成28年度 (決算見込)	平成29年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,505	2,667	1,801
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人	0.19	0.28	0.22
	人件費計 (b)	千円	858	1,134	1,241
総事業費 (a)+(b)	千円	3,363	3,801	3,042	
事業費内訳 H 29 年度	松くい虫被害対策委託料：1,747千円 苗木代：54千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	29年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 枯松の本数	本	11	24	30
	② 計画対象の松	本	85	54	21
活動指標 (活動量)	① 特別伐倒の本数	本	11	24	30
	② 樹幹注入対策の本数	本	85	54	21
成果指標 (達成度等)	① 対策実施率 (伐倒)	%	100	100	100
	② 対策実施率 (樹幹注入)	%	100	100	100

4.事務事業の評価

妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	現地調査や実施計画の作成は職員が行い、実施計画に基づく対策は専門業者が実施しており、実施主体は妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他	理由	樹幹注入や駆除対策である特別伐倒といった、松くい虫に関する専門的な知識と技術力が必要な対策については、専門業者に委託しており、実施手段は妥当である。
成果	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他	理由	専門業者への委託により、適正な対策を実施しており、松枯れ量はやや減少する傾向にある。
	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他	理由	予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を未前に防いでいる。
効率性	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	松枯れ量が前年度に比べ減少したことで、コストの削減は図られたが、年により量の上下があるので、一概には言えない。
	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他	理由	松枯れ量が前年度に比べ減少したことで、コストの削減は図られたが、年により量の上下があるので、一概には言えない。
担当課による 評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由	決められた予算の範囲内で松くい虫対策を適正に行っている。今後、抵抗性松の植栽に重点を置いた事業展開を検討する。

5.改革・改善の方向性

① 課題点や改善点	事業計画に基づき、引き続き松林の保全に取り組んでいく。
② 平成29年度に着手する事項	事業計画に基づき、予防対策（樹幹注入）を行うとともに、枯れ松を駆除することで、引き続き松の保全に取り組む。
③ 平成30年度に着手する事項	抵抗性松の植栽に重点を置いた事業展開について、検討を行う。

6.平成30年度事業への取組み状況（改善内容等）

記入日

平成30年3月26日

枯れ松の伐倒、松枯れ予防のための樹幹注入、抵抗性松の補植の3本の事業を引き続きバランスよく実施していく。
